

PCV20

肺炎球菌結合型ワクチン プレベナー20®を 接種される方へ

「高齢者又は肺炎球菌による疾患に罹患するリスクが高いと考えられる方」向け



Prevenar20®

肺炎球菌結合型ワクチン プレベナー20®とは

PCV20

肺炎球菌には、いろいろな種類（血清型）があります。肺炎球菌結合型ワクチン プレベナー20®は、そのなかでも感染症を引き起こしやすい、20種類の血清型に対応したワクチンです。

プレベナー20®の接種により、20種類の血清型の肺炎球菌に対して免疫をつけることができるため、免疫細胞のひとつであるメモリーB細胞を体内に残し、その後の肺炎球菌の感染に備えることができると考えられています（免疫記憶）。



[プレベナー20®]で予防できる病気

ワクチンに含まれている血清型の肺炎球菌による感染症（肺炎、髄膜炎、菌血症 / 敗血症など）を予防します。

プレベナー20®水性懸濁注電子添文 2024年8月改訂（第2版、効能変更、用法変更）

[プレベナー20®]を接種できる方*

- 65歳以上の方
 - 肺炎球菌による疾患に罹患する危険性が高いと考えられる方*
- 季節を問わず接種できます。早めの接種で免疫をつけておくことが大切です。

※上記に当てはまる方でも、プレベナー20®の接種ができない場合があります。気になることがあれば、医師にご相談ください。

*基礎疾患等により肺炎球菌による疾患に罹患するリスク因子を有し、医師が本剤の接種が必要と認めた方

副反応

ワクチン接種後にみられる主な副反応には、接種部位の症状（痛み、赤み、腫れ、腕の動きの制限など）、筋肉痛、疲労、頭痛などがあります。このほかにも気になることがあれば、医師にご相談ください。

接種にあたってのご注意：過去に肺炎球菌ワクチンを接種したことがある方は、前回接種した時期をかならず医師にお知らせください。

肺炎球菌結合型ワクチン プレベナー20®の接種について

PCV20

肺炎球菌結合型ワクチン プレベナー20®の接種方法は、ワクチンの接種歴や年齢によって異なります。ご自身または接種を受ける方の接種歴をかりつけの医師に伝え、ご相談ください。

【65歳の方など】高齢者の肺炎球菌ワクチンの接種について

65歳の方などを対象に定期接種が実施されています※1。定期接種で使用するワクチンは23価肺炎球菌ワクチンです。くわしくはかかりつけの医師にご相談ください※2。

これまで

23価肺炎球菌莢膜
ポリサッカライドワクチン
を接種されていない方



肺炎球菌結合型ワクチン
プレベナー20®

の接種が可能です※3*

接種
日

年 月 日

すでに

23価肺炎球菌莢膜
ポリサッカライドワクチン
を接種した方

1年以上あける

肺炎球菌結合型ワクチン
プレベナー20®

の接種が可能です※3*

接種
日

年 月 日

*日本感染症学会 / 日本呼吸器学会 / 日本ワクチン学会 合同委員会: 65歳以上の成人に対する肺炎球菌ワクチン接種に関する考え方では、PPSV23接種後1年以上の間隔をあけてPCV20を接種するとの記載がある**

※1 https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_jiryou/kenkou/kekkaku-kansenshou/haienkyukin/index.1.html 2024年9月17日参照

※2 過去に23価肺炎球菌ワクチンの接種を受けたことがある方は定期接種の対象となりません。

※3 添付文書上、PCV20接種が禁忌の記載はない*

*プレベナー20®添付文書 **日本感染症学会 / 日本呼吸器学会 / 日本ワクチン学会 合同委員会: 「65歳以上の成人に対する肺炎球菌ワクチン接種に関する考え方」をもとにファイザー株式会社の責任において作成

https://www.kansensho.or.jp/modules/guidelines/index.php?content_id=56 2024年9月17日参照

予防接種を受けた後に気をつけること

接種部位をもむ必要は、ありません。

接種後30分間は、注意深い観察が必要です。
医師とすぐ連絡がとれるところにしましょう。



接種部位に何らかの症状があらわれることがあります。
気になることがある場合には、
接種をおこなった医療機関にご相談ください。



接種後2週間は、体調に注意しましょう。

このワクチンの接種後、肺炎球菌ワクチン以外のワクチン
を接種するときには、接種間隔をあける必要はありません。
また、医師が必要だと認めた場合には、ほかのワクチンとの
同時接種ができます。くわしくは、医師にご相談ください。



接種部位は、清潔にたもちましょう。入浴もできます。
接種部位をこすることは、やめましょう。



接種当日は、激しい運動をさけましょう。
そのほかは、いつもどおりの生活でだいじょうぶです。



そのほか、ご心配な点がございましたら、医師にご相談ください。